

トピックス 詳細

HOME トピックス 一覧 詳細

その他 2014年06月19日

林野庁四国森林管理局と国立大学法人愛媛大学との連携協定締結記念シンポジウムを開催します【6月23日(月)】

森林は、その多様な機能により我々の暮らす国土保全の基礎となっています。特に四国は森林率が75%と全国的にみて高いため、森林の持続的な管理により、水源涵養、森林資源の安定的供給、そして生物多様性の保全などを確保することで、生活を守り、その質を高めていくことが必然的な課題となっています。

この課題解決に向けて、愛媛大学では平成22年度に森林環境管理高度技術者を養成するための特別コースを立ち上げ、愛媛県や森林関連組織と連携して森林管理を担える人材の育成を行っています。また、林野庁四国森林管理局においては多様化する森林に対する地域の期待に対応し、地域振興に貢献するための調査・研究に加えて、人材育成にも力を注いできました。

そのような背景の元、この度両者は、更なる森林管理の躍進と地域振興を進めるために、調査・研究および人材育成に関する連携と協力に関する協定を締結することになり、これを記念してシンポジウムを開催することになりました。

シンポジウムについては事前の申込みは不要で、どなたでも参加できます。多くの方々のご来場をお待ちしております。

日時

平成26年6月23日(月) 15:00～17:30

場所

愛媛大学総合情報メディアセンター メディアホール
(松山市文京町3, 愛媛大学城北キャンパス内)

次第

- 挨拶: 愛媛大学長 柳澤 康信
四国森林管理局長 浅川 京子
- 記念講演(各30分)
 - 「我が国の森林・林業と四国の国有林」
四国森林管理局長 浅川 京子
 - 「森林環境管理高度技術者の養成の取り組み」
愛媛大学農学部特命教授 林 和男
- 研究発表(各20分)
 - 「四国森林管理局森林技術・支援センターのシカ食害対策への取組」
四国森林管理局森林技術・支援センター所長 池本 育利
 - 「欧米諸国との比較から見た日本林業の現状と展望」
愛媛大学農学部森林資源学専門教育コース教授 大田 伊久雄
 - 「大正時代の治山事業調査」
四国森林管理局愛媛森林管理署森林官 福田 薫
 - PBL 「久万林業における外来マツ属の導入可能性調査」
愛媛大学大学院農学研究科森林環境管理特別コース 修士課程2年生
- 閉会の辞: 愛媛大学農学部長 仁科 弘重

問い合わせ先

愛媛大学農学部事務課総務チーム(担当: 米田)
TEL: 089-946-9803